

第17回情報知識学フォーラム

「震災の記憶・記録とアーカイブズ」

- 日時: 2012年11月4日(日) 10:00-17:00
 ○会場: 東京大学本郷キャンパス 工学部2号館 1階
 213号大講義室(12C室)
 ○主催: 情報知識学会
 ○後援: 情報科学技術協会, saveMLAKプロジェクト, 日本災害情報学会
 情報メディア学会, 日本図書館情報学会, 日本アーカイブズ学会, 記録管理学会

【プログラム】

詳細URL: <http://www.jsik.jp/?forum2012>

10:00	開会挨拶：石塚英弘(情報知識学会会長)	
第Ⅰ部:震災の記憶・記録とアーカイブズ		
10:10	国立国会図書館における東日本大震災アーカイブの取組み	国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課 次世代システム開発研究室・室長 河合美穂
10:40	震災をメディアはどう伝えてきたか ー東日本大震災アーカイブズの試みー	NHK 知財展開センター アーカイブズ部・副部長 宮本聖二
11:10	震災アーカイブズの現状と課題	アカデミック・リソース・ガイド株式会社・代表取締役 saveMLAK・プロジェクトリーダー 岡本 真
第Ⅱ部:震災の語りと共有		
13:00	日本災害史とアーカイブズの役割 ー変わるものと変わらないものー	立命館大学・教授 北原糸子
13:40	記憶・記録とオーラルヒストリー	東京理科大・教授 松島 茂
第Ⅲ部:アーカイブズとアーカイブズ以降		
15:00	神戸の記憶・記録とアーカイブズ	神戸大学・教授 奥村 弘
15:30	原子炉事故情報アーカイブの構築に向けて	日本原子力研究開発機構 中嶋英充、池田貴儀、米澤稔、板橋慶造 東京大学・特任研究員 桐山恵理子 事業創造大学院大学・教授 岩田修一
16:00	記憶と解放、記憶と伝承 ーインドネシア・アチェの津波経験を踏まえてー	国土交通省土木研究所・研究員 杉本めぐみ
16:50	閉会挨拶：梶川裕矢(情報知識学フォーラム実行委員長)	

参加費: 無料

資料代: 学会会員・後援団体会員: 無料、一般非会員: 3000円、学生非会員: 1500円

参加申込:

参加申込は次のページからお願いします: <http://bit.ly/jsikforum2012>

※定員は340名です。当日参加も可能ですが、できるだけ事前の参加申込をお願いしております。

お問い合わせ先:

情報知識学会事務局 〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1(凸版印刷(株)内)

E-mail: jsik@nifty.com <http://www.jsik.jp/>

情報知識学会ではこの度、「震災の記憶・記録とアーカイブズ」をテーマとするフォーラムを開催する運びとなりました。震災の記憶をいかに記録し、アーカイブズとして後世へと残していくべきか、参加者の皆さまとともに考えていければと思います。